

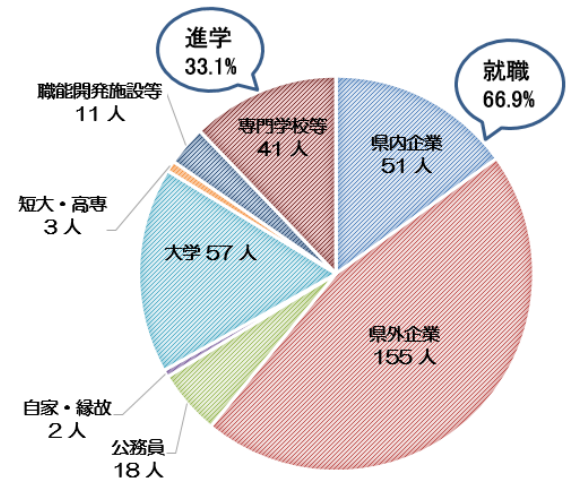
進路実現を達成するために

進路指導部

1 令和7年3月卒業生の進路状況について

第1表 進路状況（令和6年3月31日現在）

進路先		希望状況			比率
		合計	男	女	
就職	県内企業	51	44	7	66.9%
	県外企業	155	140	15	
	公務員	18	11	7	
	自己・縁故	2	2	0	
進学	大学	57	53	4	33.1%
	短大・高専	3	1	2	
	職能開発施設等	11	9	2	
	専門学校等	41	32	9	
	その他				
卒業予定数		338	292	46	100%



第2表 系別進路状況

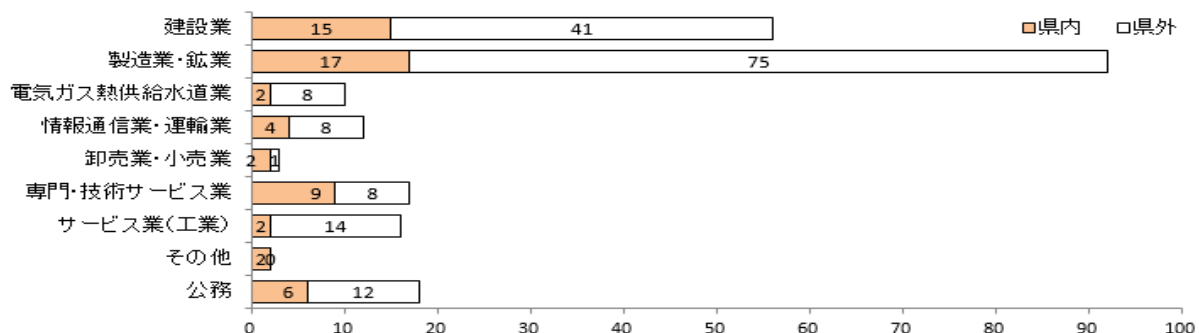
系		合計	電子機械	電気技術	情報技術	工業化学	建築	建設技術	インテリア
就職	県内企業	51 (7)	11	14	7 (2)	5	4	3 (1)	7 (4)
	県外企業	155 (15)	46	36	6 (1)	28 (4)	14 (3)	15 (4)	10 (3)
	公務員	18 (7)	1	2				14 (7)	1
	自己・縁故	2					1	1	
進学	大学	57 (4)	10	10	12	5	10 (1)	2 (1)	8 (2)
	短大	2 (2)							2 (2)
	高専編入	1			1				
	職能開発施設等	11 (2)	4		4 (1)		1	1	1 (1)
	専門学校等	41 (9)	4	12 (2)	9 (1)	1	5 (1)	3 (1)	7 (4)
その他		0							
合計		338 (46)	76	74 (2)	39 (5)	39 (4)	35 (5)	39 (14)	36 (16)

※（ ）の数字は女子再掲

第3表 産業別就職状況

産業別	建設業	製造業・鉱業	電気ガス熱供給水道業	情報通信業・運輸業	卸売業・小売業	専門・技術サービス業	サービス業（工業）	その他	公務	合計
人数	56 (4)	92 (7)	10	12 (5)	3	17 (2)	16 (3)	2 (1)	18 (7)	226 (29)
うち県内	15 (1)	17 (2)	2	4 (2)	2	9 (1)	2	2 (1)	6 (2)	59 (9)
比率	25%	41%	4%	5%	1%	8%	7%	1%	8%	100%

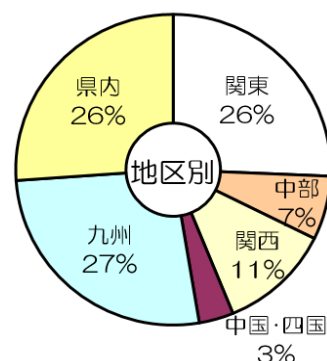
※（ ）の数字は女子再掲



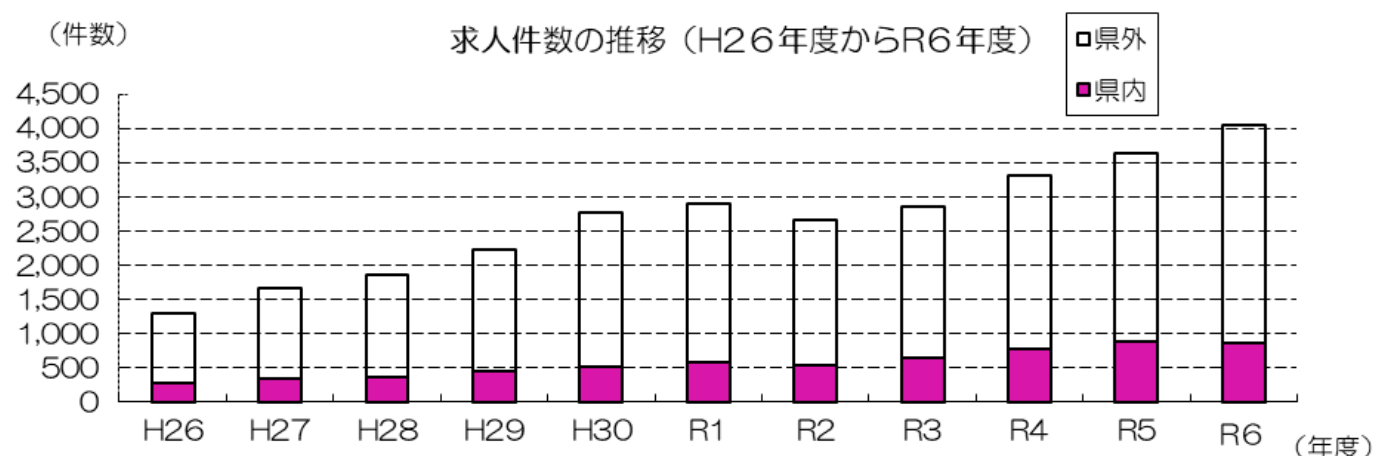
第4表 系別・地区別就職状況

系 地区別	電子 機械	電気 技術	情報 技術	工業 化学	建築	建設 技術	インテリア	合 計
関 東	6	4	5 (1)	18 (2)	5	11 (2)	9 (3)	58 (8)
中 部	13	1			1			15
関 西	9	5		5 (1)	2	4 (4)	1	26 (5)
中国・四国	4	2		1	1 (1)			8 (1)
九 州	15	25	1	4 (1)	5 (2)	9 (3)	1	60 (6)
県 内	11	15	7 (2)	5	5	9 (3)	7 (4)	59 (9)
合 計	58	52	13 (3)	33 (4)	19 (3)	33 (12)	18 (7)	226 (29)

※ () の数字は女子再掲



第5表 求人件数の推移



年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
県外 件数	1,019	1,324	1,493	1,777	2,252	2,334	2,118	2,198	2,539	2,764	3,188
(求人人数)	1,058	1,371	1,549	1,839	2,320	2,364	2,155	2,244	2,597	2,830	3,267
県内 件数	277	331	362	449	510	575	537	653	773	879	863
(求人人数)	299	369	380	469	551	617	555	680	814	891	879
合計 件数	1,296	1,655	1,855	2,226	2,762	2,909	2,655	2,851	3,312	3,643	4,051
(求人人数)	1,357	1,740	1,929	2,308	2,871	2,981	2,710	2,924	3,411	3,721	4,146

昨年度の進路状況については、ここ数年の売り手市場を反映し、就職・進学共におおむね順調でした。昨年度の卒業生も「夢実現」に向け鹿工生らしく入学時から努力してきましたが、特に3年に進級してからは、朝学習における就職試験問題集への取り組みや面接練習など、最後まで一生懸命努力しました。これらの成果が上表のような素晴らしい結果に表れていると感じます。今年度の3年生も先輩方に負けないよう、一生懸命取り組んで欲しいものです。1年生については学年会を中心に、系選択のための進路に関する資料提供や、ガイダンス、研修会の案内を行い、進路意識の向上に努める取組を行っていきます。2年生についてはキャリア教育の一環として、11月にインターンシップを実施し、進路選択に向けて職業観を養い、コミュニケーション能力など社会人としての資質を身につけるようにしていきたいと思います。また、3月には県主催の進路ガイダンスを実施する予定であり、3年進級を目前に控えた生徒達の更なる進路意識の向上を目指していきたいと思います。このガイダンスは保護者の参加も可能ですので、お時間がありましたらぜひご参加下さい。

2 就職状況について

昨年度の就職状況は第1表のとおりで、学校紹介による就職では県内・県外企業をあわせると206名全員が内定し、23年連続就職内定率100%を達成することができました。また、第一希望の入社試験における内定率も11年連続で90%を超える素晴らしい結果となりました。さらに、工

業系の職種に就いた生徒がほとんどで、まさに歴史と伝統を誇る鹿工の専門性を生かした就職状況でした。これは、第一志望の進路実現に向けた生徒自身の努力はもちろんの事、保護者の皆様方の本校進路指導に対する御理解・御協力の賜だと思えます。

求人件数においては、第5表のとおり昨年度は 4,051 件と、4,000 件を超える求人件数となりました。一方、県内求人は横ばいで県外企業との採用活動に差が見られました。産業別では電気や空調などの設備工を含めた建設業が 1,448 件、製造業が 906 件と、この2業種で全体の 60%弱を占め、次いで運輸業、卸売業・小売業となっています。

今年度も、少子高齢化による担い手不足の観点から、求人状況については変わらないものの、専門性の高い職種については人数に制限があり、企業は優秀な人材を確保しようとするところから相変わらず厳しい状況が予想されます。その狭き門をくぐり抜けるためには、基礎学力の向上、基本的生活習慣の確立、部活動、どれも油断がないように努める必要があります。

就職試験では、学科試験、適性試験、作文、面接試験等が実施されますが、学科試験では早い時期からの計画的な学習が大切です。面接試験では、将来の目標をしっかりと持ち、元気で明るく、コミュニケーションのしっかり取れる生徒が求められています。

公務員については、昨年度は 24 名の生徒が挑戦し、最終的に 18 名の生徒が合格しました。試験が9月から 11 月までと非常に長丁場の中、生徒はよく努力し、素晴らしい結果を残してくれました。職種では土木職や電気職など、専門を生かせる国家公務員や地方公務員の技術職を受験する生徒が多く、合格者の約 7 割が技術職での合格でした。また、警察や消防、海上保安庁などの公安職の希望者もあり毎年のように合格者がいます。消防や警察などの公安職については近年、普通科高校の生徒が多く受験しており、より高いレベルでの基礎学力が求められるので、技術職を目指す生徒よりも早めに受験対策に取り組む必要があります。

3 進学状況について

令和3年以降、進学を希望する生徒が増加し、一昨年度は 10 年ぶりに 30%を超えましたが、昨年度もその傾向は変わらず、2年連続で卒業生の約 3 分の 1（112 名）が進学を希望しました。国公立では、鹿児島大に 1 名、鹿児島県立短大に 1 名、鹿児島高専編入に 1 名が合格しました。

本校から進学する生徒は大半が学校推薦型選抜・総合型選抜で受験します。したがって、「評定平均値」を上げること、欠席しないように体調管理をしっかりとすること、志望校の入試形態についての研究をして早めの対策をすること等が必要です。特に大学、短大、医療系進学については、基礎学力テストを実施する学校が多く、国・数・英の基礎学力を付け、口頭試問や小論文の対策をしっかりとしておくことが大切です。部活動による推薦の場合は、顧問・担任とよく相談しましょう。

なお、学校推薦型選抜については人物・成績共に優秀な生徒が推薦されます。生徒指導上の問題がある場合や欠席日数等が多い場合は推薦できないことがありますので気を付けてください。

さらに、大学に入学した卒業生から普通科目がついていけないという感想を耳にします。入試に直接関係しない科目でも進学後に備えて十分力を付けておくことが大切です。そのためにも本校は進学希望者対象の課外授業を実施しています。進学を希望する人はぜひ受講してほしいものです。

4 生徒の進路心得について

- (1) 自己理解（自分のことをよく知る）を深める。（成績、性格、適性、興味、関心、健康状況等）
- (2) 学力の向上に努める。（計画を立てて実行し、入社試験・入学試験に備える）
- (3) 基本的な読み、書き、算数（計算）の力を高める。（作文、小論文、入社試験等で試される）
- (4) 資格取得に励む。（仕事に必要な専門的な知識や資格）
- (5) 新聞を毎日読む。（面接で質問されたり、一般常識、作文、小論文に出題されたりしている）
- (6) 読書をする。（ただ知識が高まるだけでなく、発想力がつき、脳の活性化などの効果がある）
- (7) 明るく元気に、はっきりとした口調で、気持ちのよい挨拶ができるようにする。
- (8) 日頃から言葉遣い、服装身なり、礼儀作法をきちんと身につけておく。
- (9) 職業観の育成（働くとはどういうことか）に努める。意欲、創造性を持つことが必要。
- (10) 規則正しい生活とハウレンソウ（報告、連絡、相談）の習慣化に努める。

（遅刻、欠席の多い人は要注意 …… 合否への影響が大きい）